

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和7年3月12日(2025.3.12)

【公開番号】特開2022-132691(P2022-132691A)

【公開日】令和4年9月9日(2022.9.9)

【年通号数】公開公報(特許)2022-167

【出願番号】特願2022-113503(P2022-113503)

【国際特許分類】

G 06 F 16/90 (2019.01)

10

【F I】

G 06 F 16/90 100

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月4日(2025.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザの所定目的を達するために当該ユーザに提示される、所定の単語、フレーズ、若しくは文章からなる文字列を目的文字列として、当該ユーザが前記目的文字列に到達するために意図する誘導文候補を当該単語が入力されたときに抽出されるように、前記単語と、複数種類の前記誘導文候補と、前記目的文字列とを対応付けて、誘導文辞書に格納する辞書生成手段

を備える情報処理装置。

【請求項2】

前記誘導文候補は、質問文候補であり、前記誘導文辞書は質問文辞書である、

30

請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

情報処理装置が実行する情報処理方法において、

ユーザの所定目的を達するために当該ユーザに提示される、所定の単語、フレーズ、若しくは文章からなる文字列を目的文字列として、当該ユーザが前記目的文字列に到達するために意図する誘導文候補を当該単語が入力されたときに抽出されるように、前記単語と、複数種類の前記誘導文候補と、前記目的文字列とを対応付けて、誘導文辞書に格納する辞書生成ステップ

を含む情報処理方法。

【請求項4】

前記誘導文候補は、質問文候補であり、前記誘導文辞書は質問文辞書である、

40

請求項3に記載の情報処理方法。

【請求項5】

コンピュータに、

ユーザの所定目的を達するために当該ユーザに提示される、所定の単語、フレーズ、若しくは文章からなる文字列を目的文字列として、当該ユーザが前記目的文字列に到達するために意図する誘導文候補を当該単語が入力されたときに抽出されるように、前記単語と、複数種類の前記誘導文候補と、前記目的文字列とを対応付けて、誘導文辞書に格納する辞書生成ステップ

を含む制御処理を実行させるプログラム。

50

**【請求項 6】**

前記誘導文候補は、質問文候補であり、前記誘導文辞書は質問文辞書である、  
請求項5に記載のプログラム。

10

20

30

40

50